

中国遼寧省瀋陽での生活



左から3人目が執筆者

菊地 聡一 (きくち そういち)

前・在瀋陽日本国総領事館 領事
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部根室港湾事務所事業専門官

1994年北海道開発局入局、主に港湾・漁港部門で勤務。2016年3月から19年3月まで在瀋陽日本国総領事館に勤務し、広報・文化等を担当。19年4月より現職。

2016年3月から2019年3月まで約3年間、中国遼寧^{りょうねい}省瀋陽^{しんやう}市にある在瀋陽日本国総領事館に勤務していました。今回は総領事館で担当していた広報文化の仕事や瀋陽での生活を簡単ではありますが紹介したいと思います。

1 東北3省の概況

在瀋陽日本国総領事館が管轄する地域のことを少しお話しします。

在瀋陽日本国総領事館の管轄は、図にあるように中国の東北3省と呼ばれる遼寧省、吉林省、黒龍江省になります。その内遼寧省にある大連市だけは、総領事館の出先機関である在大連領事事務所の管轄となります。

遼寧省の面積は約14.8万km²、人口は約4,359万人、省都は瀋陽市(面積 約1.3万km²、人口 約829万人)、吉林省の面積は約18.7万km²、人口は約2,717万人、省都は長春市(面積 約2.6万km²、人口 約479万人)、黒龍江省の



図 中国東北3省位置図(一部、在瀋陽日本国総領事館HPより抜粋)

面積は約47.3万km²、人口は約3,788万人、省都はハルビン市（面積 約5.3万km²、人口 約955万人）です。3省都合わせた面積は北海道よりも広く、人口は約4倍になります。

緯度でいうと瀋陽市が函館市、^{ちょうしゅう}長春市が札幌市、ハルビン市が稚内市と同程度の緯度とされています。

気候は、夏は30℃以上になり、冬は-30℃以下にもなりますが、瀋陽市は私が赴任していた3年間では、あまり雪が降り積もるということはありませんでした。雪が降っても道路などは直ぐに除雪車もしくは、人海戦術で除雪が行われていたの、ほぼ路面が見えている状態でしたが、日中に日が差して雪が溶けても夜になると気温が低いのでアイスバーンの状態になることもありました。バスやタクシーなどは冬タイヤに履き替えるということはあまりなく、転倒や追突事故が起きていることをたまに目撃することもありました。

北京オリンピックでも行ったロケットを使用した降雨というのもありました。その時はゲリラ豪雨のように降ることが多かったと記憶しています。雨が降ると一部の道路などが冠水することよくありました。

日本人や日系企業は、3省合わせて約6,000人と約1,900社ありますが、その多くは大連市（約4,800人、約1,600社）に集中しています。ちなみに瀋陽市には約700人、約200社、長春市には約300人、80社、ハルビン市には約100人、30社です。瀋陽市には日本精工、安川電機、東芝エレベータといった大手機械・電機メーカー等が進出し、主に中国国内向けの製品を生産しています。その他、ユニクロや無印良品、吉野家、すき家なども進出しており、日本より少し高い値段設定になっていました。また、大手や地方銀行も瀋陽にも常駐しており、北海道銀行もあります。北洋銀行は大連市にあります。長春市にはトヨタやマツダが中国自動車メーカーと合併で中国国内向け自動車を製造しています。その関係で自動車部品メーカーも進出しています。ハルビン市には三菱自動車が進出しています。

北海道と関係のある友好都市関係ではいろいろあり

ますが、代表的なところだと札幌市と瀋陽市が1980年に締結しており、札幌市長も瀋陽に来ることもありました。また、北海道と黒龍江省が1986年に締結しており、締結30周年で北海道知事が黒龍江省に来て調印式などを行っていました。

2 仕事の概要

私が担当していた仕事は、日本の文化などを紹介する文化事業や日本関連のことを紹介する広報事業の外、日本語学習や日本留学に関すること、国際交流基金（1972年に外務省所管の特殊法人として設立され、2003年10月1日に独立行政法人）の事業などを行っていました。

このような文化交流などは、中国では省政府もしくはは市政府などの政府関係機関や地元の大学などの協力を得て実施することが多く、日中両国の関係がよいと話がスムーズに進み、大勢の人が参加できるようになります。幸いなことに私が赴任していた3年間は、よい関係が続いていたので、実施の可否については直ぐに決定することが多かったです。また、関係がよいと政府関係機関等からもいろいろなイベントをやりたいと要望が来ます。

その中で実際に実施してきた文化イベントの一部を紹介したいと思います。

茶道の紹介

東北大学（瀋陽市にある中国の大学）の協力で日中平和友好条約締結40周年事業「日本伝統文化レクデモ～茶道裏千家講演会」を開催し、遼寧省・瀋陽市政府関係者及び瀋陽市内の6大学の学生など約320人が参加しました。



日本伝統文化レクデモ（茶道）



同講演会では、裏千家大連出張所に協力してもらい茶道に関わる知識、生け花と茶花の生け方の違い、着物の簡単な知識を紹介し、茶道のお点前も実演しました。また参加者100人に呈茶（お菓子と抹茶）を体験してもらいました。

華道の紹介

日中友好条約締結40周年を記念し、在瀋陽日本国総領事館と長春市人民政府外事弁公室が長春市内で「2018日本花道芸術交流会」を共催し、「華道家元池坊」のいけ花教授を講師とし、華道の講演と実演を行いました。

長春市内8大学の学生や先生及び吉林省・長春市の政府関係者、社会人、約270名の人に参加し、その内20人が華道の体験を行いました。この交流会は、CCTV新聞移動サイト、CCTV一生放送、フェニックス吉林、新浪などの中国メディアによりインターネット



トを通じてのライブ中継が行われ、合計で38万人強の人に視聴されました。

日本酒の紹介

遼寧省、瀋陽市政府関係者及び瀋陽市内の日本食レストラン関係者、小売店・ホテル関係者、メディア関係者など約110人が参加し、「和食・日本酒レクデモ〜日本酒と和食の魅力〜」を開催しました。

北京の宝酒造食品有限公司北京工場長に講師をお願いし、日本酒の講演及び日本酒と和食のペアリングの解説などを行い、その後、試飲試食交流会を実施し、日本酒や和食を楽しんでももらいました。

上記活動の外、いろいろなイベントや国際交流基金事業（日本映画紹介など）や日本語弁論大会などの後援などを行ってきました。総領事館の中では忙しい部署なのに領事館内でもいろいろ問題もあり、苦勞した3年間ではありましたが、無事に日本に帰ることが出来ました。



日本華道芸術交流会



和食・日本酒レクデモ

3 瀋陽での生活環境

インフラ整備ですが、高速鉄道（日本でいう新幹線）が整備されていて、瀋陽から東北3省主要都市には行けます。もちろん北京などにも行けます。瀋陽長春間は1時間30分位で行けます。大連にも2時間30分程度です。高速道路もありますが、出張などはこの高速鉄道を使用して行っていました。

市内の移動は、地下鉄、バスもありますが、タクシー移動の方が日本で日本のタクシーより安いです（地下鉄、バスはもっと安いです）。初乗り料金が8元（約130円）です。よほど郊外に行かなければ30元くらいで往復出来る感じでした。

食事関係ですが、中華ということもあり日本人でも食べられるものが多いです。たまに変わった食材もありますが…。魚は川魚が多いです。中華でも魚料理はありますがほぼ川魚です。日本人のように海の魚になっているとあまりおいしいとは思わなかったです。大連など海の近くだとお寿司屋も多くあり、普通に食べられますが中華料理に比べ高くなります。瀋陽にも日本料理屋（日本の居酒屋風のお店が多い）が結構あります。瀋陽は内陸に当たるので海の魚はおいしいとはあまり感じませんでした。サンマも見かけましたが、日本とは違いあまり脂のない感じが多かったです。サケは瀋陽でもお刺身で食べられていますが、輸入ものでノルウェー産が多かった気がします。

卵は生でいただくなら相当厳選した方がいいです。日本料理店でも吟味していると聞きました。普通にスーパーでも売っていますが、私は生では食べなかったです。私は赴任中に何度か日本に一時帰国する機会がありましたが、その時には卵かけご飯とかお寿司や魚を食べたくて食べていました。

水はミネラルウォーターを飲みます。500mlペットボトルが1元です。水道水は飲まない方がいいです。

お酒については、こちらでも普通にビールは売っています。地ビールもあります。瀋陽は「雪花（シュエファ）」という銘柄になります。ただ、こちらでは飲

み物を冷やして飲むという習慣がないので、お店で注文の際には「冷たいビール」と言わないと常温の物が出てきますので注意が必要です。東北地方の地酒といえば、白酒（バイジュ）という数種類の穀物からなる蒸留酒になります。アルコール度数も高く、独特の味わいがあるようです。日本人にはあまり口に合わないようで、領事館員や歴代の瀋陽経験者などに聞いても、あれにはやられたとよく聞きました。白酒を飲んでみると臭いもきつく、飲めない私でも気化したアルコールで酔っていました。

電子マネーという観点では中国は日本より進んでいます。中国ではLINEは使えませんが、中国版のLINEであるWeChatというものがあります。LINEと同じくチャットや電話がただで出来て、お金のやりとりも出来ます。数年前からお店などではこれでバーコードを読み込み支払うことが多くなってきていてキャッシュレスでした。

今年8月29日によく瀋陽にもローソンが出店しました。東北3省では大連市にはローソンはありましたが、2都市目です。私が赴任していた以前からローソン進出の話がありましたが、瀋陽市政府の方で地元コンビニに影響があるということではなかなか出店認可の許可が下りないとのことでしたが、なんとか出店できたようです。お弁当やおにぎりなどもおかれているので日本のコンビニに近いコンビニになります。開店当初は行列が出来るほどの混雑ぶりだったようです。日本の商品もおいているので日本人にとっても便利になるかもしれません。

さて、そろそろ終わりにしたいと思います。

これを読んでいただいた方の中に今後もまた瀋陽やその他の国に赴任する機会があるかと思っています。これを読んで少しでも海外赴任に興味を持っていただければ幸いです。

谢谢,大家！再见！